

熊本県宇土郡不知火町松合方言のアスペクト

一森 綾子

I. はじめに

- (1) 調査対象地：不知火町松合は熊本市から25km、車で45分ほどの宇土半島南岸中央部に位置し、松合校区は世帯数867戸、人口2,844人で人口の減少の見られる割と平均年齢の高い地域である。不知火海に面しており江戸時代後期から明治時代中期にかけては醸造業や漁業が盛んで港町として繁栄を見せたが明治32年三角線の開通と共にさびれていった。現在は高速道路の松橋インターチェンジから天草を結ぶ県道の国道226号線への昇格を契機に「まっちゃ活かそう会」が発足し、ふるさとの活性化を目指し「土蔵白壁のまち」の復活に力をいれている。基幹産業の果樹栽培では特産品のデコボン作り、漁業では車海老や海苔の養殖をやっている。
- (2) 調査年月日：1993年11月18日午後7時30分～10時30分
- (3) 教示者：坂口和子 昭和4年2月15日(65歳) 農業
嶋谷力夫 大正13年11月30日(69歳) 公務員
松浦八郎 大正4年7月16日(79歳) 無職
- (4) 調査者・調査場所：一森綾子、ともに教示者宅の居間
- (5) 調査方法・調査時の状況：教示者は3名とも生え抜きであり、言語感覚が鋭く言語分析能力をも備えた人を選び調査をした。調査は調査表の着眼点メモに注意しながら意図が十分通じるように配慮した。教示者は以前からの知己であり、どちらも緊張せずに調査を進めることができた。整理する段階で疑問に思う箇所は電話で何度も確かめ松合のより正確な方言のアスペクト調査報告ができるように努めた。
- (6) 表記方法：回答の順に記録をしているが必ずしも回答の順にその語形がよく使われるということではない。アクセントは無いものもあるが、分かる範囲内で語形の上部に線を入れ表記した。文末詞は有る無しでニュアンスが変わる場合は記述した。
*印の説明は主に教示者の内省報告によるが、調査者の考えも一部入れている。

II. 調査結果

1. (昔は)よく行ったものだね ① 昔^ャヨ^ーイ^キヨ^ッタ^{ネー} / ② ヨ^ーイ^キヨ^ッタ^{ナー}
*「ヨ^ー」は必須成分である。「ヨ^ー」抜きでは反復経験の回想にならず単に昔の事を懐かしく思いだし感慨の念を表しているに過ぎない。文末詞「ネー」が付くのは相手が同一体験の持ち主の場合のみである。文末詞「ナー」が付くのは独白の場合でもある。ここではどちらかというとなら①の方が敬意は高い。
2. (あのころは)おもしろかったなあ ① (あん頃は)オモシロカ^ッタ^バッ^テン^{ナー} / ② オモシロカ^ッタ^{ネイ} / ③ (あん時分な)オモシロカ^リヨ^ッタ^{ネイ} / ④ オモシロカ^ッタ^{バイ}
*①の「バ^ッテ^ンナ^ー」は肥筑方言の代表の一つであるが必ずしも逆説の意味ばかりで

なく「しかし」の意を表すこともある。「あの頃も面白かった」は「アンコロモオモシロカッタバッテン」となる。③は老年層の言葉で今は余り使わない。④の「バイ」も肥筑方言の代表とされるもので穏やかな教示の文末助詞である。②③の文末の「ネイ」は「ネー」の方言形で若い人は余り使わない。「面白かったナイ」という言葉も聞いたことがあるが何時どこで聞いたのか記憶が定かでない。老人語の傾向。

3. (もうちょっとで) 落ちるところだった ①(まちっとで) ツッコク^ニデシタ / ②オチットコルダッタ / ③オチロデシタ

*①は②より方言的で今は独白の場合か、極親しい間柄での会話に使う。

4. (今にも) 落ちそうだよ ①オチュ^ニデシヨルバイタ / ②オチットジャナッカイタ / ③チアユデシヨルバイ / ④ツッコクデシヨルバイ / ⑤オチロデシヨルバイ

*②は「カイタ」(ですか)という疑問詞を使って穏やかに知らせる場合の表現。「カイタ」は主に女性を使う丁寧な言い方で「カイ」より丁寧な言い方。③は古い言い方。主に古老が使う。古語「アユル」に接頭語「チ」が付いたもの。今は余り使わない。①③④⑤の終助詞「バイ、バイタ」は「バッテン」と同じく肥筑方言の代表にされている言葉で穏やかな言い方である。ここでは出なかったが「子供が橋から落ちそうな時」など「イマニツコクヅ」「インマツコクヅ」と声をかける。「ゾ」「バイ」「バイタ」と順に敬意が高くなる。②の「ジャナッカイタ」は「ではないですか」の意味で穏やかな思いやりのある表現。④は物でなく人の場合にのみ使うことが多い。

5. (財布を) 落として ①(財布ば) ウシノ^ニテ / ②オテテシモーテ

*①は「失って」である。②の「オテテ」は「オトシテ」の変化したもので、「オテッシモーテ」もある。

6. 困っている ①コマットル / ②ドギ^ニャンシュカイタ / ③ドギ^ニャンジョ^ニンナカッタイ

*②の「カイタ」の「タ」は、「バイタ」の「タ」と同様丁寧になり女性同志での会話に用いられることが多い。ここでの意味は「どうしましょうか」で問いかけになっている。③の意味は「どうしようも無いのだよ」となる。

7. (1本の蠟燭が今にも) 消えそうだよ ①キヤーキユルバイ / ②(蠟燭の火の) キエカカトル / ③キユデシヨルバイタ

*①の「キヤー」は「○○してしまいそう」の意味になる。「キヤー」の使い方では他に「行ってしまわれるよ」の意味で「キヤーイカスバイタ」等がある。「消エル」は「消ユル」で、松合には他に「見ユル」・「聞こユル」・「受クル」・「越ユル」・「燃ユル」「替ユル」「捕まユル」「生ユル」など文語式二段活用が残っている。

8. (今) 消えようとする(瞬間) ①キエッチマイヨル / ②キユ^ニデシヨル

9. (完全に) 消えた(瞬間) ①キエテシモタ / ②キエチシモタ

10. (すでに) 消えていたよ ①(もう) キエトッタバイタ

11. (何本もの蠟燭が順に) 消え始めた ①キエジャータ / ②ツギツギキユルバイタ

③キエダシタ

*③が若い人の言葉である。

- 1 2. (何本もの蠟燭が次々) 消えて行くなあ ①キエテシマウナー／②キエチイクナ
1 3. (何本もの蠟燭が順に) 消えているよ ①キエチキヨル／②キエヨル
1 4. (何本もの蠟燭が全部) 消えているよ ①(蠟燭の火のソオヨ) キエチシモータ
バイ／②キエテシモトルバイ
1 5. (何本もの蠟燭の火を次々) 消しているよ ①ケシヨル／②ケシテイク／③キヤ
シヨル

*③は古い言葉で若い人は余り使わない。

- 1 6. (もう全部) 消しているか ①ケシテアルカイ／②ケシテシモータカイ／③キヤ
シテアルカイ／④キヤシトルカイ

*③④は古い言い方で今の若い人は使わない。

- 1 7. (今にも桜が) 散りそうだ ①チロデッシヨル

*教示者3名とも同一語形。

- 1 8. (ちらほらと) 散り始めた ①チリダシタ／②チッジャータ／③チリカカッタ

*②はより方言的で親しい間柄での会話に使う言葉。

- 1 9. (今現に) 散っている ①チリヨル

*①以外に思い当たらない。

- 2 0. (桜の木がすっかり) 散っている ①チッテシモートル／②チッテシモータナ

*結果の告知の場合は「チッテシモータネ」と文末詞に「ネ」は使わず「チッテシモータナ」となる。

- 2 1. (地面一面に) 散っている ①チッテシモータ／②チッテシモートル／③チリシ
ードル(散り敷いている)

*③は余り使わない。人が言うのを聞いた事がある。

- 2 2. 今にも降りそうだ ①フロデッシヨル／②フツェクルゴタル／③フダスバイタ
④ヤガテフルバイタ

*「○○デッシヨル」の用法では他に、「(行こう)デッシヨル」「(帰ろ)デッシヨル」などがある。

- 2 3. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ ①フロデッシヨッタナー

*教示者3名共同語形。

- 2 4. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ ①(あん時ヤ本なこて) フリヨッタ
バイタ／②フリヨッタタイ

*この場合②のように「タイ」と付いたときは人の話に逆らうような軽い否定の意味が入る。「フーリヨッタタイ」と長音になるとかなり強く否定する感じになる。

- 2 5. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ ①アケカカッタ／②アクデ

ッショッタ

26. (来年の今ごろは家を) 建てている (最中) ①タテヨル／②タチヨルコロダケン
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている ①タテトル／②タットル(ケン)
28. (あの家はよく) 磨いてある ①ミギャーテアル／②ミガイトラス／③ミギャー
ツアル

*②の「ラス」は「オラス」の省略語形で軽い尊敬語で建築業者ではなく家の持ち主が
手を入れて磨いたと思われる場合に言う。

29. (隣の犬が) 鳴いている ①ナキヨル／②ホエヨル

*②は大きい犬の場合。小さい犬の場合は①である。

30. (隣の子が) 泣いている ①ナキヨル

*教示者3名とも「ナキヨル」で「ナイトル(ナイトル)」とは言わない。(29)で
回答された「ホエヨル」とも言わない。

31. (こどもたちが) 喧嘩している ①ケンカシヨル

*進行態では「ケンカシヨル」のみである。「あすこで子どもんが喧嘩シヨルばいた」と
なる「ケンカシトル」といえば以前からの継続になる。「あつとは喧嘩シトットタイ」
と言うと「あの人は以前から喧嘩しているんだよ」という意味になる。

32. (家に) いるかなあ ①オルカナ^ー／②(○○さんな、今家に)オラスカナ^ー／
③オッドカイナ^ー／④オッドカー

*松合辺りでは「オンナハル」→「オラス」→「オラル」の順に敬意が下がる。ここ
では相手が友達であり、独白なので敬意の高い「オンナハル」は使わない。「○○
さんな」の「ナ」は上の「ン」音につられ「ワ」が「ナ」に変音したもので連声。

33. (○○さん) いるか ①オンナハルカ／②^ーオットナー／③オンナハットカイト

*②は呼びかける相手が同年輩など親しい間柄の時使う言葉。「オンナハツカ」と過
去形で問いかける人もいるが自分は使わない。独白の場合と違って少し敬意の高い「
オンナハルカ」と言う場合が多い。「オツタナー」「オンナハツタナー」と「ナー」
と文末詞にアクセントを付けて言うと「やはりいたねー」「やはりいらっしまし
たね」という意味で確かめになる。

34. (ああ) いるよ ①オルマスバイ／②オルバイタ／③オルマス

*①の方は強い言い方。少しむっとして自分の存在を知らせるときに使う。②の方が穏
やかな言い方である。普通③である。「イル」形は使わない。

35. (そういう人も) いるよ ①(そぎゃんもんも) ^ーオッドナー／②(そぎゃん人も)
オンナハルバイタ／③オラスバイタ／④オルバイタ

*①は「いるでしょうね」という意味で遠慮した言い方である。②③は「バイタ」とど
ちらも断定しているが前項の(34)と違い、一人称でなく三人称なので「オンナハ
ル」「オラス」と敬意の高い言葉を使っている。こちら「イル」は使わない。

36. (あなたは今何を) していたか ① (あはは今なん) シトツタツナ / ② ショッタ
ナ / ③ (あーたは今なん) シヨンナハッタカ / ④ シヨンナハッタナー

* 「ナンバシトツタナ」と「ナ」にアクセントが付くと相手をとがめる言い方になる。

①の「シトツタツナ」が一番よく聞く語形である。

37. (私は今金魚を) 見ていたよ ① ミトツタ

* 「ミトツタ」がよく使う語で「ミョッタ」とは言わない。

38. (金魚が今にも) 死にそうだ ① シンカカトル / ② シノデッシヨル / ③ シヌデ
ッシヨル

* ③が一番古い言い方。

39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ ① シンドッタヨ / ② (やっぱ金魚は) シンド
ッタバイ

40. 読み始めていた ① ヨミダシタ / ② ヨミジャータ / ③ ヨミカカッタ

* 「ヨミカカッタ」と言えば読み始めようとしていたという意味になる。

41. 読み始めたところへ ① ヨミカカッタトコレ / ② ヨミジャータトコレ

42. 着くと同時に～した ① (こけ) チイタットイッドキ / ② チータバツカルノトコ
レ / ③ チータトタン

43. 着くと同時に～してくれ ① チータラスグ / ② (あっちさん) ツイタナラスグ
 / ③ ツキシダイ

* ②は若い人の言葉。

44. 鳴り続けている ① (さっきかる) ナリッパナシナリヨル / ② ナリヨル / ③ ナッ
ツズケヨル

45. (先生は今何を) しているか ① (先生や今なんば) シヨンナハルカ / ② シヨン
ナハッデスカ

* 敬語の進行態では「先生はナンオシヨリマスカ」もあるが、これは動詞に「オ」が付いてかなり敬意が高い言い方になる。他に「お行きますか」「お帰りますか」「お食べますか」のように使われる。①は年輩の人が若い先生に向かって言う言葉。普段は②の場合が多い。②は①に「です」が付いて丁寧な言い方になる。

46. 好きだ ① (おどんなあん先生が) スイトル / ② (おらあん先生が) シートル /
③ (わたしゃあん先生が) スーキ

* ③は女性が主に使う語。

47. 見られているのも ① (おどん達が) ミドットモシランデ / ② (私たち) ミラレ
トットモシランデ

48. (今、運動会が) ある ① (今丁度運動会の) アリヨル

* ここでの進行態の告知では「アリヨル」以外他にはない。

49. (降らなくて) よかったよ ① (今日は雨ん降らんで) ヨカッタナー / ② ヨカッ

タイ／③ヨカッタバイ

50. (先生がこっちへ) 来つつある ①(あん先生のこっちさん) キヨラス／②キヨ
ンナハル／③オイデヨル
*「あん先生のこっちゃんキヨラス」とも言う。③より更に敬意が高い「オイデヨンナ
ハル」もある。敬意は③②①の順に低くなる。「先生のこっちさんコーデッショラス」
も聞いたことがある。今の高校生は「先生ノコッチャンキヨラス」と言う。
51. (犬がこっちへ) 来つつある ①キヨル
52. 似ている ①ニトル
*親子顔が似ているような時「ソックリターカタカルウッジャータゴタル」などと言う。
53. (一週間も前から遊びに) 来ている ①キトル
54. (昔から) 苦労していない ①シトラン
*ここでは「シヨラン」とは誰も言わない。
55. (今はあまり) 苦労しないでいる ①シヨラン
*継続の場合は「シトラン」とは言わない。
56. ～は売っているが～は売っていない ①(たばこは) ウットルバッテン(衣料品)
な) ウットラン
*この場合松合では「ウリヨラン」とは言わない。他所の人は「ウリヨル」と言う。
57. (昔からタバコを) 売っている ①ウットル
*以前から常時と言うときも「ウットル」である。若い人が「ウリヨル」と言う。
58. (今、大売り出しで衣料品を) 売っている ①ウリヨル
*現在そこに人がついて売り出しをしている様な場合は「ウリヨル」のみ。
59. (もう三回) 来ている ①(こん店にゃもう3回ばっか) クットバイタ／②キ
トル
*①②は経験の回想で自分の事を言う場合。経験しないことの回想、他の人の事を言う
場合は、「キトラストバイタ」「コラシタツバイタ」等となる。
60. (いつも) 来ている ①キトル／②(イッデン) クットバイタ／③(イッデン)
キトットバイタ／④(キズクメ) キトル／⑤(イツカルシジュウ) キトル
*調査者一森は「こん店にはいつもキヨル」と言う語形を使う。高校生もそうである。
「(よく) 来ている」は「キツケトル」とも言う。
61. (昔はいつも) 来ていた ①キトッタ
*調査者一森は「キヨッタ」と言う語形を使う。
62. (前に一度) 行っている ①(あん店にゃ、前に1回) イドル(もんな-)／②
イットル／③イタコツノアル④イッタコツノアル
*①③の方が②④の語形より方言的で古い言い方。若い人は①③は使わない。③の「イ
タコツノアル」に対して「オッタコツノアル」と言うのは以前居住していたことがあ

ると言う意味で使い分けられている。

63. さきに行っておいてほしい ①イ^トッテハイヨ／②イ^タトッテハイヨ／③イ^トッ
テクダハランカ／④イ^トッテクレンナ／⑤イキヨッテハイヨ／⑥イ^トッテイテクダハ
ル

*今の若い人は「イ^トッテイテ^ー」とか「イ^トッテイテハイヨ」になる。①②③④はどの位
遅れるか分からないので構わず先に行っておいて欲しいという時。⑤はちょっとした
用事で遅れるので途中で追いつく自信がある時に言う。

64. 待っていないさい ①マ^トッ^ンナッセ／②マ^トッ^キナッセ

*どのくらい待たせるか分からないような時は①の「マ^トッ^ンナッセ」である。

65. (外に) 待たせてあるよ ①(子どもは外に) マ^タセ^トッ^{タイ}

66. 食べておいておくれ ①(ちっとおそなるけんしとっで) ^クー^トク^{タイ}／②タ^ベ
ト^ッテ^{ナー}／③タ^ベト^ンナ^ハル／④タ^ベト^キナ^ッセ

*この中では③の語形が一番強い命令形になる。年上や目上の人が下の者に言う言葉。
若い人は使わない。おばあちゃんがお孫さんに言う場合などこうなる。

67. (昔と) 違っている ①(こん味噌汁の味や昔とだいぶん) チ^ゴト^ル

68. (昔は今のと) 違っていた ①チ^ゴト^ッタ

69. (毎日梅干しを) 食べている ①ク^イヨ^ル／②タ^ベヨ^ル／③ク^ート^バイ^タ

70. (毎朝) している ①シ^ヨル／②(私や健康ん為ラジオ体操ば毎朝) シ^トッ^トで
すたい。

*「シヨル」一色かと予想していたので「シトル」は間違いではないかと聞き返したが
二人の方はこの場合は「シトル」としか言わないということだった。調査者一森は
「シヨル」である。

71. 気を付けていて(～した) ①キ^ーツ^ケト^ッツ^ニ／②(あん人は健康にはじょう
に) キ^ーツ^ケト^ラシ^タッ^バッ^テン(病気なってしまうした)

*②の場合の「バッテン」は「病気しないように気を付けていたけれども病気してしま
った」などと使い逆説の意味になる。

72. 行ったまま～ ①(友達の家遊び) イ^ッタ^{マン}マ(帰ってこん)／②イ^タキ^リ
／③イ^ッタ^ナリ／④イ^タマ^マ

*今の若い人は「イ^タ」形ではなく「イ^ッタ」形である。

73. ～しながら ①シー^ナガ^ル／②シー^{シー}／③シー^カタ^デ

*③は調査者一森の言葉で「ご飯食いかタデ本バ読マンヨ」(ご飯を食べながら本を読
みませんよ)等と使う。他の人は使わないと言う。天草生まれの母の影響かとも思う。

②の「シーシー」の他に「飲みながら」が「ノ^ミノ^ミ」、「食べながら」が「ク^イク
イ」などの様に並行継続を連用形の二つ重ねで表現する。

74. ～の途中で～する ①(学校ん) イ^ッガ^ケニ親戚のうちに寄ろう。／②イ^クミ^チ

* (75) の場合と違い「イキヨッテ」とは使わない。

75. ～の途中で～した ①イッガケニ／②イクミチ／③イキヨッテ

*この項目は三人三様であった。

76. ～の途中で止めて～した ①ヨムトバヤメテ／②ヨミカケテ

77. ～したばかりだ ①ヨンダバッカリ／②ヨンデシモータバッカリ／③ヨードバッカリ／④ヨードシモータトコル

*④と②では④の方がより完了直後の状態を表す。(たった今ヨードシモータトコル)
③④の「ヨード」「ヨード」はウ音便で文語形である。他に包んで「ツツーデ」となり歩んで「アユーデ」となる。

78. 無くなっている ①ノシナツトル／②ノーナツトル

*①が古い言い方で若い人は②の「ノーナツトル」が多い。

79. 無くなるぞ ①(はよ食べんと)ナカゴツナル／②ノシナルバイ／③ヌシナルゾ／④ノーナルヨ

*②③は若い人は余り使わない。

80. 掛けておいた帽子 ①カケトイタ／②カケトッタ／③カケチアッタ

*③は誰かがした行動、あるいは自分のした行動とどちらの場合も使う。①②は動作の主が一人称の場合である。

81. 並んだ本 ①ナランドル／②ナロードル

82. 並べた本 ①ナラベテアル／②ナラベチアル／③ナラベツアル

83. ～しておこうか ①ヨンドク／②ヨンドコカ／③ヨードコカ

84. やってあるか ①シテシモートル(カイ)／②シテシモータ(カイ)

85. 壊している ①コワシヨル／②イッカヤシヨル／③イックザシヨル

86. 壊れている ①コワレトル／②イックワレトル／③イックザレトル

87. 壊されている ①イックワヤサレトル／②イックヤサレトル

88. のけてある ①ノケチアル／②ナワシテアル

89. 書き終わった ①カイトシモータ／②キヤーテシモータ③キヤーッシモータ

90. 書いてしまいなさい ①キヤーテシマワンカ／②キヤーッシマイナッセ

*①はぞんざいな言い方になる。「○○カ」は疑問形であるが②より「○○ナッセ」より強い命令形になる。

91. 書いてしまう ①キヤーカクモンナー／②キヤーテシマウ／③カイトシマウ

*①の「キヤー」はついうっかりという意味になる。

92. 書いてみた ①キヤーテミタ／②カイトミタ

93. (孫は今)入院している ①シトル

*直接体験を伝達するときは「シヨル」は使わない。

94. (弟も今)入院しているそうだ ①シトルゴタル／②シトッテッタイ

* 伝聞の事柄を伝達するときは「シトル」形である。

95. (きっと)よくなるよ ①ヨーナッテクル／②ヨーナルバイタ

* (きっと)が付くと「ナッテクル」と近づきで表現する。

96. (だんだん)よくなるよ ①ヨーナッテイクヨ／②シゼンニヨーナルヨ

* (だんだん)が付くと「ナッテイク」と遠のきで表現する。

97. 歳とるとね ①トシバトッテクット／②トシバトット／③トシトッテクンナラバ

* 「トシバトットシャガ」とも聞いたことがある。年輩である自分に近づくので「テクル」と近付きで表現することが多いようである。

98. なおらなくなるよ ①ナオランゴツナル／②ナオランゴツナッテクル

* こちらも「テクル」を使い「ナオラナクナッテイク」とは言わない。

99.

(1) (犬が)怪我したので ①ケガシタケン／②ケガシタノデ

「怪我しヨッタので」とは言わない。

(2) (こどもが)怪我したので ①ケガシタケン／②ケガシタノデ

こちらも「怪我しヨッタので」とは言わない。

(3) お父さんが怪我したので ①ケガシナハッタケン／②ケガサシタケン

* 「シナハッタ」の方が「サシタ」より敬意が高い。ここでも「怪我しヨッタので」とは言わない。

(4) (雨が)降ってきたので ①アメンフッテキタケン／②アメンフッジャータケン

* ここでも「降ってキヨッタので」とは言わない。

* 松合では以上の4つのどの場合も「ヨル」形は用いない。

100

(1) 雨が降りつつあると言う言い方 B. 今ぼつぼつ降り始めた状態を表す。(二人)

A. 今にも降りそうな状態を表す。(一人)

(2) 貯金が増えつつあると言う場合は B. すでに現に増えている状態を表す。(二人)

A. 貯金が少しずつ増えようとしている(一人)

(3) 貯金を増やしつつあると言う場合は

B. 増やそうとして少し貯金をし始めた状態(二人)

C. すでに現にかなり増やしている最中である(一人)

III. まとめ

(1) 松合方言アスペクト調査を終えて

これまで語彙中心の言語地理学的調査をやっており他地域にない珍しい語形、或は伝統的な古語の残存と思われる語形が比較的多く保存された地域として松合を調査地に選定した。方言アスペクト調査は初めての経験であったが、調査地域不知火町松合は調査

者一森の生まれ育ったふるさとである。意図するところの語形が出ない場合や、私自身の使用語形と著しく違うような場合は語形を示したりしてより正確な松合方言のアスペクト調査が出来るように心がけた。

調査をする中で教示者からも指摘があったことだが、同じ言葉でもアクセントの付け方や声色で全然違った意味になる言葉がある。方言に限らず共通語形でもそれはあると思うが改めて方言の面白味や難しさを感じた。

例、「オンナハッター」と「ン」にアクセントがある場合は「おられましたか」といった問いかけになり、「オンナハッター」と「ナー」にアクセントがある場合は「予想したようにやはりおられましたね」という意味である。

(2)松合方言アスペクトの特徴

方言の共通語に対する優越性が有るのは進行態の「○○している」という表現の「○○シヨル」と、結果態の「○○シトル」の使い分けが先ず挙げられよう。これは松合方言に限らず阿蘇を除く熊本の方言全般に言えることだと思ふ。

例、「降りヨル」「降ットル」・「喧嘩シヨル」「喧嘩シトル」・「散りヨル」「散ットル」のように進行態と結果態の両態を区別表現しうる。

こういう語法を持つ方言は、この両態を共に「降ッテイル」・「喧嘩シテイル」・「散ッテイル」としか言わない現代共通語よりも、より優れた語法体系を持つものだと言われている。しかし、調査項目(56)～(58)のように「売ッテイル」の語法は非常に微妙である。「売ってある」つまり店に並べて売っている場合が「売ットル」で、大売り出しで何かを店員さんがついて売るような場合が「売リヨル」となる。教示者の報告によると前述したように「売ットル」「売リヨル」の使い分けが徐々になされなくなり「売リヨル」に一本化されようとしているということである。方言調査を始めて10余年になるが言葉は厳密には一人一人違うと言っても過言ではないように感じている。

松合の年輩の方に聞いた次のような話がある。

戦時中の事、暑い盛り、同じ松合校区の大見という部落のあるお宅に立ち寄り「すみませんが水を飲ませて下さい。」と一杯の水を所望したところ、返ってきた答えが「飲ません」と聞こえ、とても驚いたという話である。「ノメッセン」(「飲みなさいませ」という意味であるが松合辺りでは「ノミナッセ」と言っている)というのが「飲ません」と拒否する言葉に聞こえたという話なのだ。他にも「食べなッセ」「帰んなッセ」「着なッセ」「しなッセ」「遣んなッセ」「行きなッセ」等のように「なッセ言葉」がある。大見地区でこれらの「なッセ言葉」がどのように発音されるのかは未調査である。「なッセ」はもともとは「なさいませ」といった丁寧な言葉であったのが使い古され変化した言葉なのである。このように同じ町内でも少し離れると聞いても何の事かと戸惑うような言葉の違いが見いだされるのである。

(いちもり あやこ 松橋高校勤務)